

# 平成31年度学校自己評価システムシート (県立北本高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの個性を伸ばし、生きる力を地域社会とともに育む学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 基礎基本を重視し、確かな学力の育成及び体力の向上を図る。 2 個に応じた進路指導を充実させ、多様な進路希望の実現を図る。 3 自主自律の精神と規律を重んじる態度を育成し、豊かな心を育む教育活動を推進する。 4 地域連携事業を推進し、生徒の社会性及びコミュニケーション力を育む。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	学校全体の課題として、生徒の基礎学力向上に向けた取り組みを行っているが、学習習慣の定着に至っていない生徒もいる。生活習慣や学習習慣を確立させ、生徒の意欲的な学び、教員の授業改善への取り組みを引き続き継続していく。	教員の授業力向上及び生徒の学力向上	①未来を拓く「学び」プロジェクトや、校内研修等を通じて授業公開や研究協議を充実させる。ICT機器を活用した授業を展開する。 ②学校および授業アンケートを実施し、生徒の実態把握と教育活動の見直しを行う。 ③質問・自習コーナーの支援体制を整え、積極的利用を呼びかける。 ④登校指導、巡回指導を実施し、学習環境を整えて学習習慣を確立させる。	①全県対象の授業研究会及び年次研修の授業等を実施したか。 ②授業を理解できていると回答する生徒が昨年より増加しているか。 ③質問・自習コーナーが活用されているか。 ④昨年度と比較して、欠席・遅刻・早退の数が減少しているか。		
2	生徒の多様な進路希望の実現に向け、客観的な指標に基づいた学力の把握を行い、個に応じた適切かつ段階的な指導をより充実させる必要がある。	進路資料室の活用と進路行事等の充実	①進路指導主事及びJSTを中心として、進学先や就職先の開拓を行う。また、JSTによる就職希望生徒への丁寧な支援を行う。 ②学年間の情報交換を密にして、進路説明会等の進路諸行事を段階的、計画的に実施する。 ③生徒の資格取得を奨励し、学習の支援を行い、取得を向上させる。 ④進路資料室の利用を促す。 ⑤学力の客観的な指標の導入に向け検討する。	①生徒それぞれの希望と適性に基づいた進路先を決定できたか。 ②各学年との情報交換を密にし、進路行事を段階的、計画的に実施できたか。 ③昨年度と比較し、検定受験者数や合格者数は増加したか。 ④進路活動で利用したか。 ⑤学力の客観的な指標の導入について検討はなされたか。		
3	基本的な生活習慣の確立に向け、遅刻指導をさらに充実させ、社会規範意識の向上に向けた指導を徹底する必要がある。また、部活動については、昨年度の加入率6割を超えるように働きかけを行う。	生徒指導体制の整備及び自主自立の精神と豊かな心の涵養	①遅刻指導、整容指導等の充実に向けて、段階的、継続的な指導を組織的に行う。 ②生徒会を中心に各委員会と連携し、行事の充実と改善を行う。また、定期的に部長会を開催し、部活動の実態把握を行うことで、部活動の活性化に繋げる。 ③教育相談委員会を中心として、定期的な巡回支援を実施する。また、各学年と連携して情報の共有を深め、個に応じた支援を充実させる。 ④530(ゴミゼロ)プロジェクトによる地域清掃活動の実施と日常的な清掃活動の充実を進める。 ⑤いじめ防止に向けた全校的な取り組みを強化する。	①遅刻指導、整容指導、交通安全指導、挨拶指導等を実施したか。 ②昨年度の課題が改善されて行事が行われたか。部活動の加入率は向上したか。 ③巡回支援や個に応じた支援は適切に実施されたか。 ④地域清掃活動への参加者は増加したか。 ⑤いじめ防止委員会が中心となり、職員や生徒に啓発的な活動ができたか。		
4	地域の探究学習を進めるためにも、地域との連携を深めていきたい。「生きる力を地域社会とともに育む学校」という理念のもと、効果的なPR活動を多方面から考えていく。	地域・保護者との連携及び開かれた学校づくりの推進	①KISEP(北本市小・中・高相互交流事業)を積極的に推進する。 ②校内、校外のボランティア活動を推進し、地域のイベントへの積極的な参加を促す。 ③広報誌の発行やHPの充実により、本校発の情報発信を積極的に行う。 ④PTA役員との連携を深め、学校行事などでの保護者との協力体制をさらに充実させるとともに、PTA行事への参加を促す。	①関係機関と連携し、計画に基づいて実施できたか。 ②ボランティアや地域のイベントへの参加数は増加したか。 ③HPのアクセス数は増加したか。 ④昨年度と比較し、PTA活動への参加者は増加したか。		

学校関係者評価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	